

日韓労働者の連帯を強化！



2018年10月28日(日)～29日(月)にかけて開催された第27回JR東労組登山大会に韓国の労働者の仲間と共に第21回日韓労働者交流登山大会として参加しました。登山大会には全体で171名が参加し、日韓労働者交流登山大会には韓国の仲間が22名、JR東労組青年部から6名が参加しました。

当日は、茨城県の筑波山を登頂しました。筑波山は日本百名山の一つで男体山(標高871M)と女体山(標高877M)の二峰を持っています。

日韓の仲間が言葉は通じなくても、身振りなどで励まし合い、差し入れを互いにしながら登頂しました。頂上からは筑波山から見えると思っていなかった富士山がきれいに見ることが出来ました。

また意見交換の場では、現在の組織実態についても議論しました。韓国の仲間から「18春闘を掘り下げて時間をかけて総括するべき。今の東労組の状況は韓国でも共有するし、新しい道を切り拓くために共にたたかおう」と発言されました。

日韓の仲間が連帯をさらに強化し、組織の再確立に向けたたたかうことを確認しました。

連帯する仲間と共にたたかおう！